

患者さまと井上眼科病院をつなぐ、「眼」の情報ペーパー

井上眼科だより

— Inouye Eye Hospital News —

vol.111
2020 WINTER

特集

眼科ドック

- 札幌・井上眼科クリニック セミナー開催報告
- 見えにくさ相談会 開催報告



井上眼科病院グループ 井上理事長ごあいさつ



2020年が始まりました。旧年中は患者さまをはじめ多くの方々より多大なるご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、平成から令和へと時代が移り変わった年でしたが、井上眼科病院グループも「井上眼科病院」「お茶の水・井上眼科クリニック」に電子カルテシステムの導入や「札幌・井上眼科クリニック」の開院と、変化の大きい一年となりました。また、社会貢献活動の一環で、新たな試みとして「視覚障害者ボウリング体験会」を開催、「視覚障害者スポーツを応援する会」を設立し、視覚障害者が「輝ける」「活躍できる」取組みの応援を始めました。

本年は1月から「お茶の水・井上眼科クリニック」に続き「札幌・井上眼科クリニック」でも眼科ドックをスタートいたしました。私が専門としている緑内障は、自覚症状がほとんど表れず気づく頃にはかなり症状が進んでいることが多くあります。一度失った視野は元に戻らないため早期発見・早期治療が何よりも重要です。皆さまの眼の健康維持に少しでも貢献できればと考えております。

西葛西・井上眼科病院は國松志保副院長を迎え、緑内障手術や網膜硝子体の緊急手術にも対応できる病院として、引き続き皆さまにご安心いただける医療を提供してまいります。

大宮・井上眼科クリニックはクチコミやご紹介により来院する方が増えました。埼玉エリアの皆さまからのご期待に添えるよう、専門外来を活かした地域の眼科医療の受け皿になることを目指し、今後も診療を行ってまいります。

医療業界の大きなトピックスとしては4月に診療報酬改定が行われます。

時代の変化とともに医療の技術や機器も進歩しております。今後も当グループは「眼の総合病院」として最新の技術や情報を取り入れ、患者さまへより良い医療を提供できるよう、職員一同精進してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団 済安堂 井上眼科病院グループ 理事長
井上 賢治

気づいたときには、もう進行している？

眼疾患の中には、自分で見え方の異変に気づいた時には深刻化しているケースが珍しくありません。

眼は片眼に異常が生じて、もう片眼がその機能をカバーしてしまうために症状に気づくのが遅れてしまうことがあります。これが眼疾患の早期発見が難しい理由とも言えます。早い段階で病気を見つけることができれば、治療の選択肢が増え、視力や視野を保つことができます。日本人の視覚障害の原因第1位は緑内障です。緑内障の中には眼圧が基準値以内なのに視神経が耐えることができずに障害されてしまう正常眼圧緑内障があります。日本人では最も多く緑内障の約70%を占めますが、一般健診では病変が見つかりにくいのが現状です。このように発見しにくい初期の眼の病変を見つけるために、人間ドックや健康診断にプラスしてOCT検査や視野検査を受けられる眼科専門のクリニックでの眼科ドック受診をお勧めしています。実際に当院の眼科ドックでも緑内障などの疾患が見つかる方もいます。

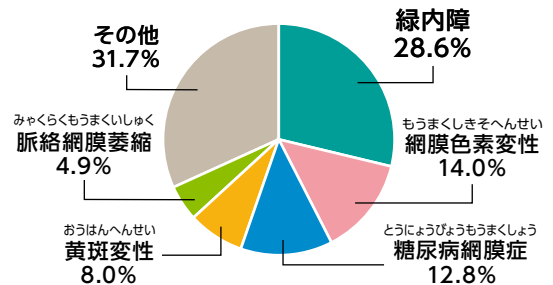
お茶の水・井上眼科クリニックと札幌・井上眼科クリニックでは、眼の総合病院ならではの充実した検査内容をもとに眼科専門医が診断する眼科ドックを設け、眼疾患の早期発見に努めています。眼科ドックをきっかけに疾患が見つかった場合は、当院の経験豊富な眼科専門医が診察いたしますので、ご安心ください。

眼科ドックチェックリスト

- 40歳以上の方
- 近視が強い方
- 眼精疲労や身体の不調が長い方
- 糖尿病や高血圧の方
- 偏頭痛のある方
- 血縁者に緑内障の方がいる方

が
2つ以上つく方は
眼科ドックの受診を
お勧めします

■ 視覚障害の原因疾患

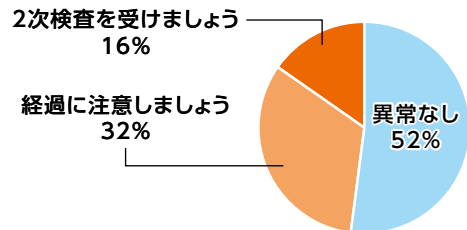


※白神史雄：厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究
平成28年度総括・分担研究報告書：視覚身体障害者認定の実態疫学調査

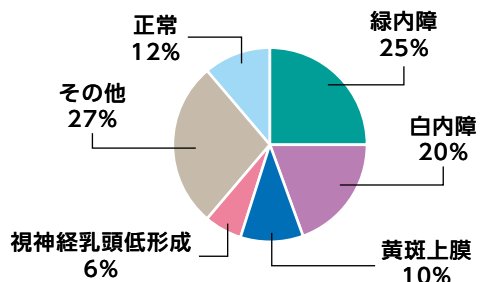
■ 眼科ドック受診者の約半分の方が「経過注意」と「2次検査受診」の結果に！

期間：2015年10月～2016年9月

当院眼科ドック受診者の総合判定結果



2次検査の診断結果



※眼科専門病院での眼科ドック受診者における眼疾患の発見
井上賢治他 人間ドック32：659-665,2017より

眼科ドックのお申し込み

札幌・井上眼科クリニック ← 2020年1月よりスタート!!

☎011-200-3755

電話受付時間：月～金 9:15～12:30 / 14:00～17:30
土 9:15～12:30 ※祝日・年末年始除く

お茶の水・井上眼科クリニック

☎03-3295-7735

電話受付時間：月～土 9:00～17:00 ※祝日・年末年始除く

■ 眼科ドックは完全予約制です。

■ 眼科ドックで疾患が見つかった場合、その治療については別途保険診療となります。予めご了承ください。

◎大宮・井上眼科クリニック

大宮・井上眼科クリニックは、井上眼科病院グループにおける埼玉エリアの拠点として開院し、今年で4年になります。最近では、アクセスの利便性や診療に関するクチコミをきっかけに来院される方が多く、徐々に地域の方に当院を知っていただき、より一層患者さまに安心していただけるサービスをご提供できるよう励んでいきたいと思っております。

当院は日帰り手術にも対応しており、もっとも多く行っているのが白内障手術で、年間600件ほど行っております。手術を受けた患者さまからは、「よく見えるようになった」と感謝の言葉もいただき大変嬉しく思います。

白内障とは、水晶体が混濁することで視力の低下をきたす眼の病気です。90%以上の原因は加齢によるものです。手術は濁った水晶体を取り除き、人工の眼内レンズを挿入する手術ですが、適切なタイミングで手術を行うことが大切です。患者さまお一人おひとりのライフスタイルにあわせてご相談させていただきますので、気になることがありましたら遠慮なくご質問ください。本年も一人でも多くの患者さまにご満足していただけるよう精進してまいりますので、大宮・井上眼科クリニックをどうぞよろしくお願い申し上げます。



野崎令恵 院長

◆ INFORMATION 井上眼科病院グループからのお知らせ ◆



電子カルテを導入して1年が経ちました！

「井上眼科病院」「お茶の水・井上眼科クリニック」に電子カルテシステムが導入されて1年が経ちました。導入当初はご来院いただいた際にお待たせすることもございましたが、ご理解ご協力くださり誠にありがとうございました。これからも最新の設備を整え患者さまにご満足いただける医療の提供に努めてまいります。



小学校で講演を行いました！

お茶の水・井上眼科クリニックの柴田菜都子医師が、小学校の授業で3、4年生に「目の役割を知ろう!」の講演を行いました。クイズを交えながら目の役割や仕組みなどお話ししました。今後も子供たちの眼の健康を守る活動を続けていきたいと考えています。



全日本視覚障害者ボウリング選手権大会運営のお手伝いをしました！

9月に開催された全日本視覚障害者ボウリング選手権大会に当院職員が運営ボランティアスタッフとして参加しました。今後も視覚障害者が「輝ける」「活躍できる」取組みを応援してまいります。

井上眼科病院名誉院長の若倉雅登医師著書の新刊が2冊発売されました！



蓮花谷話譚

青志社 価格:1,650円(税込)

伝記的医療小説、女人禁制の明治の高野山に突如女人医師誕生の謎、果たして信頼される医師になれるのか？



心療眼科医が教える その目の不調は脳が原因

集英社新書 価格:946円(税込)

あなたの「見えない」は「脳」の異変かもしれません。

全国の有名書店にて発売中

◎札幌・井上眼科クリニック

北海道には「雪虫」という冬の訪れを告げる風物詩があります。白い綿のようなものをまとった虫でまるで粉雪が舞っているように見え、雪虫が飛ぶと1~2週間くらいで初雪が降る、と言われております。昨年は夏の猛暑の影響でその雪虫が大量発生し、本当に雪が降り始めたのではないかと勘違いするほどで、眼に虫が入ったという理由で受診する患者さまもおられました。そして、雪虫が飛んだ2週間後の11月初旬には、やはり札幌市内でも初雪が観測されました。



清水恒輔 院長

冬の札幌は気温が氷点下になる日が多く寒さがとても厳しいですが、当クリニックは幸い地下鉄やJRからの地下道で直結のため、受診しやすいと好評をいただいております。

また、当院では多目的ホールにて患者さまに眼の疾患に関する理解を深めていただくために、定期的にセミナーを開催しております。今までは白内障を中心にお話させていただいておりましたが、今後は涙目や飛蚊症(先程の雪虫ではありませんが)といった、患者さまが普段から気になるような症状に関しての講演を増やしていこうと思っており、皆さまから身近な存在となるクリニックを目指しております。

1月の北海道はすっかり雪景色となっています。北海道だけではなく、関東も寒くなってきていると思いますので、皆さまもお体にはご自愛いただければと思います。2020年も札幌・井上眼科クリニックをどうぞよろしくお願い申し上げます。

札幌・井上眼科クリニック ご予約・お問い合わせ

☎011-200-3755

札幌 井上眼科

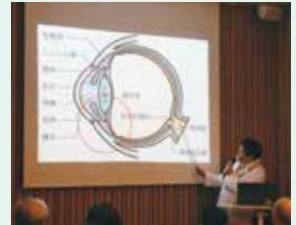
検索

月~金...9:15~12:30/14:00~17:30 土...9:15~12:30

札幌・井上眼科クリニック 公開セミナーを開催いたしました

8月31日(土)に緑内障についての公開セミナーを開催いたしました。

緑内障外来でも診療している井上賢治理事長より、「緑内障」の症状や治療についてご説明いたしました。



10月12日(土)に白内障についての公開セミナーを開催いたしました。

清水院長より、「白内障」の症状や治療法、手術の流れについて、図や写真、模型などを使って説明をし手術のメリットや術後の見え方についても詳しく説明いたしました。

今後も眼疾患をわかりやすく説明するセミナーを定期的で開催いたします。



全国で活躍中の井上眼科OBの先生方をご紹介します!



赤塚眼科はやし医院

林 殿宣 院長

2011年5月~2012年4月
井上眼科病院在籍

今回ご紹介するのは、東京都板橋区の「赤塚眼科はやし医院」院長 林殿宣先生です。林先生の専門分野は網膜硝子体、斜視・弱視。東京女子医科大学から出向し、お茶の水で勤務されておりました。

「施設の設備はもちろん、各専門分野のエキスパートが勢揃いしていることに衝撃を受けました。医療を受ける患者さまはもちろん、眼科を学ぶ医師にとっても素晴らしい病院だと思いました。」とお話しくれました。「井上眼科への出向時代は同年代の先生方も複数いて、充実して非常に楽



地域に密着した「眼のかかりつけ医」を目指しておられます



林院長(左)と当院の井上(右)

しかったし、本当に勉強になった。」と当時を振り返っていらっしゃいました。

現在は1Fに皮膚科と内科を併設したクリニックの2Fで診療を行っており、自院で加療できる症例なのか、高度な医療機関を受診する必要があるのかを見極めることが、患者さまと医療機関双方の負担の軽減になると考え、日々治療を行っていらっしゃいます。「得意とする分野だけではなく、眼科全般を広く対応できる眼科のプライマリー・ケア・クリニックを志しております。」と抱負を語られました。

クリニック情報

赤塚眼科はやし医院

〒175-0093 東京都板橋区赤塚新町1-24-5

ホームページ: <http://www.akatsuka-eye-clinic.com/>

☎03-3938-8900

井上眼科だより

— Inouye Eye Hospital News —



vol.111
2020 WINTER

◎ 西葛西・井上眼科病院



井上順治院長

地域医療への貢献

2020年を迎え、西葛西・井上眼科病院は1991年の開設から今年で29年目、新病院へ移転して5年目となります。昨年は緑内障のエキスパートである國松志保先生が新たに副院長に就任し、外来、手術ともにより充実した診療体制となりました。地域の皆さまに安心して診療を任せいただけるよう、あらゆる眼疾患に対応ができる専門外来を設けています。中でも、小さなお子さまのいるご家庭の多い地域性を考慮し、小児眼科外来に力を入れています。お子さまとご家族の方が他の患者さまに気兼ねすることなく受診いただけるよう、完全予約制を導入し、専用の受付や待合室、検査室、診察室を設けております。患者さまや地域の皆さまに、眼疾患の治療法や予防法について医師が解説する「知っ得セミナー」は毎回たくさんの方にご参加いただき、ご好評をいただいています。

医療連携の継続

当院は、全国トップレベルの網膜硝子体手術実績と、東東京から千葉方面まで幅広くカバーできる立地を生かし、地域の開業医の先生方との連携に力を入れています。それぞれの医療機関の専門性によって役割分担することで、患者さまへ最適な医療提供が行える環境を整えることが大切だと考えています。

頼れる眼科病院を目指して

本年も患者さまのお話によく耳を傾け、お一人おひとりに寄り添った治療を心掛け、地域に根ざした眼科専門病院として、「この病院にすれば間違いない」とおっしゃっていただける病院を目指してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

西葛西・井上眼科病院 院長 井上 順治

西葛西・井上眼科病院
ご予約・お問い合わせ

☎03-5605-2100
月～土 … 8:30～16:30

西葛西 井上眼科 検索

◆ 見えにくさ相談会開催報告

社会福祉法人日本点字図書館の方々にご協力いただき、12月11日(水)に見えにくさ相談会を実施いたしました。見え方にお困りの患者さまとご家族さまに向けての相談会や最新の拡大読書器をはじめとした見え方に配慮されたさまざまな便利グッズの紹介、AI視覚支援デバイスの体験会も実施いたしました。

ロービジョンの患者さまの一助を担えるよう今後も継続してまいります。実施のお知らせは、院内の掲示等でお知らせいたします。

